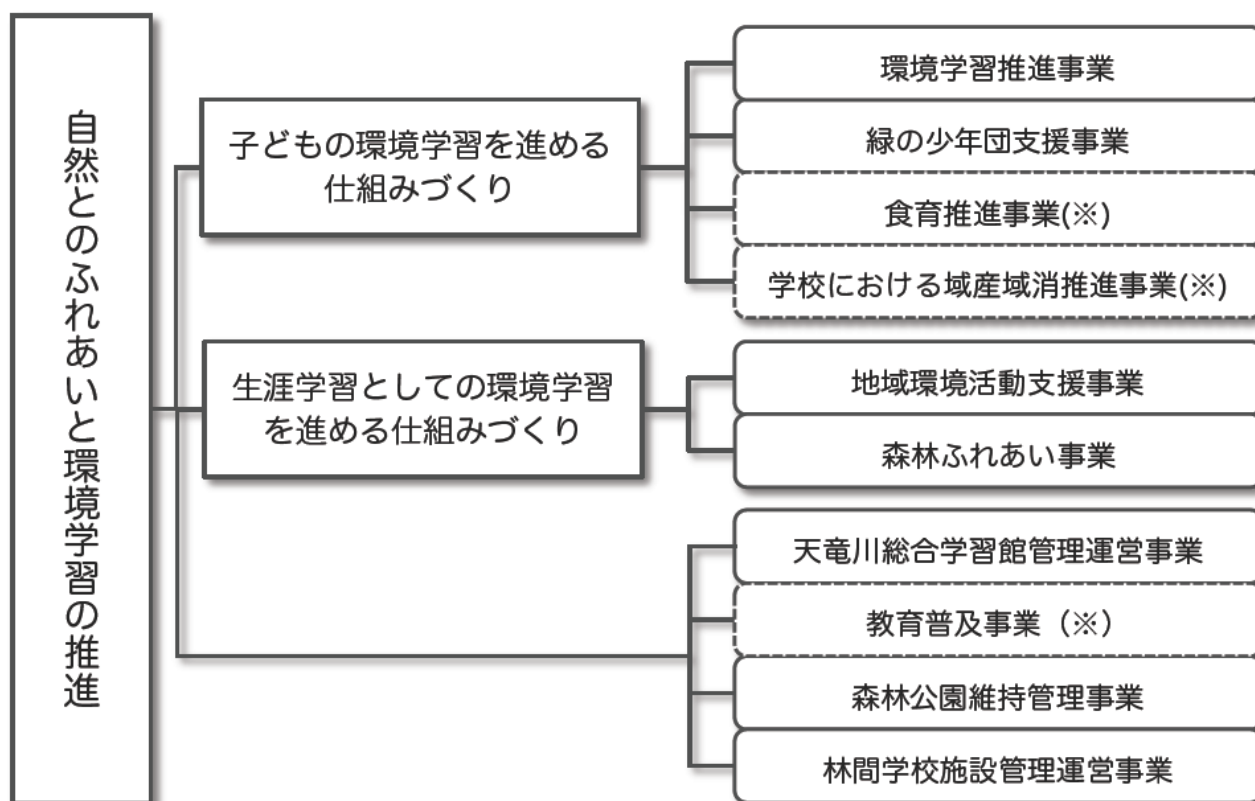


基本施策5 環境学習の推進

1 施策の柱と事業の構成

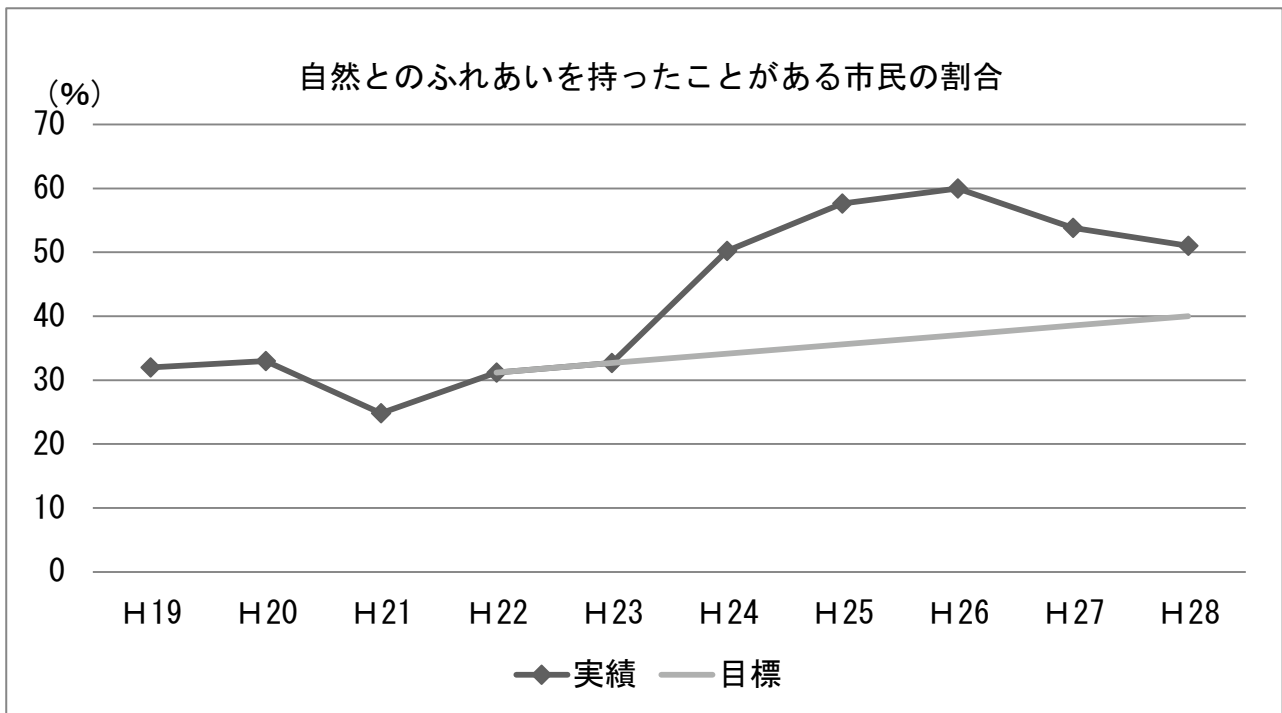


2 施策指標の達成状況

施策指標	単位	H22年度 実績	H28年度 実績	H28年度 目標	達成 状況
自然とのふれあいを持ったことがある市民の割合	%	31.2	51.0	40.0	○
環境学習会に参加したことがある市民の人数	人/年	30,973	39,094	40,000	△
同、市民アンケートによる割合	(%)	(23.9)	(21.8)	(31.0)	×

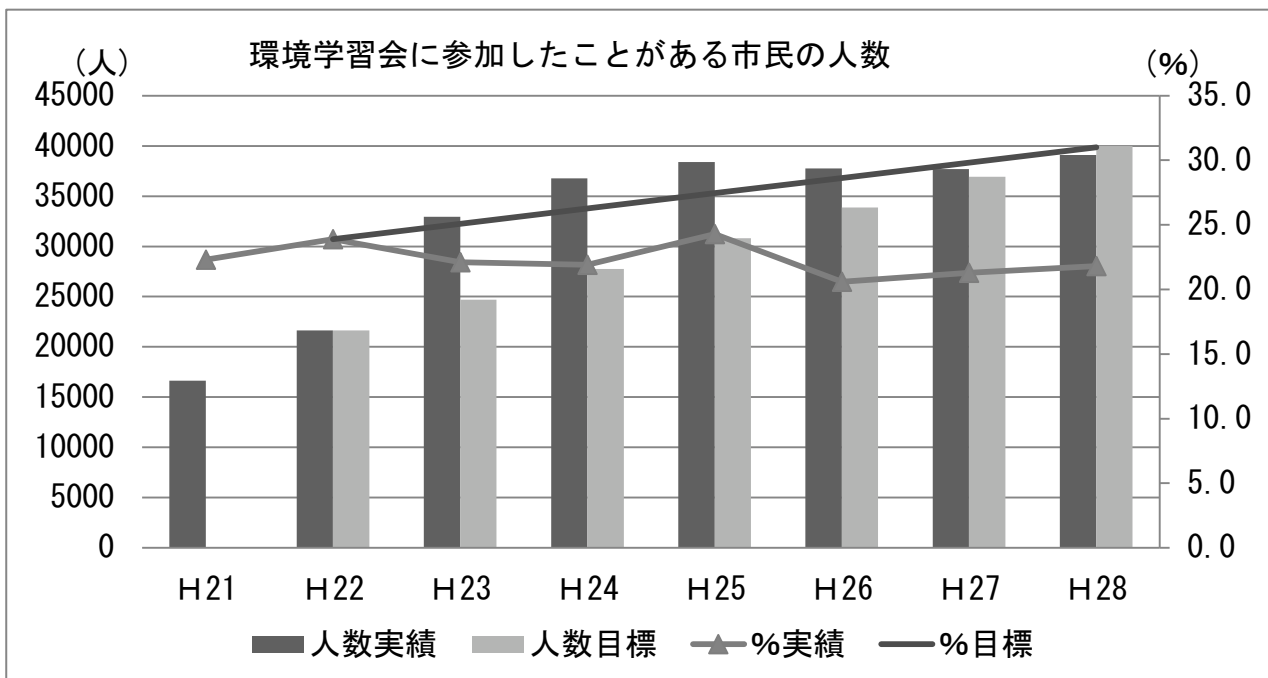
達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向 ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向

△：目標未達成だが改善傾向 ×：目標未達成で、横ばい又は悪化傾向



毎年、無作為抽出による市民アンケート調査を実施しており、その中で自然とのふれあい（キャンプ、ハイキング、ウォーキングなどの他、山菜採り、家庭菜園などの野外活動を含む）を行っているかの回答結果を示したものです。

近年上昇傾向でしたが、今回の調査結果では、昨年度に比べて6.2ポイント減少しました。しかし、近年の傾向では、自然に親しむ野外活動を通じて、環境保全や様々な自然環境に関する知識の習得及び五感の発達が各々で進んでいると考えられます。



実際に環境について学ぶ機会に参加した市民の方を計上したものが上のグラフの棒グラフ部分になります。大きく分けて、環境学習と自然と親しむ活動の2種類に分けられます。

飯田市において環境を学ぶ場としては、天竜川総合学習館かわらんべや飯田市美術博物館、身近なところで公民館があり、それぞれ様々なニーズに対応した環境学習の機会の提供と実践が行われています。特に天竜川総合学習館かわらんべにおいては、多くのリクエスト講座が設けられており、保育園児から一般の方まで多くの利用がされています。

自然と親しむ活動については、天竜川や水辺等美化活動といった市民の皆様にご協力いただいている水辺等環境美化活動から環境チェッカーや子供エコクラブのような自然の中に入る活動までわたります。

これら環境学習や自然と親しむ活動を行った人の数は、昨年度に比べてほぼ同数です。

また、別のアンケート項目では、環境に関する学習会や環境に関する知識を高めるような行事（講演会・研修会・イベントなど）に関わったり、参加したりしているかという問いをさせていただいており、その結果は先程のグラフにおける線グラフ部分になります。傾向を見ると概ね20%台を前後している結果であり、前の結果と合わせると、少なくとも15~20%前後の市民の方が環境や自然に関する環境学習の場に参加していると考えられます。

3 施策の柱の達成状況

施策5-1 子どもの環境学習を進める仕組みづくり

1 将来的な手順の考え方と現状

	将来的な手順の考え方	H28年度の状況
第1段階	(1) 飯田市の環境に関連する課や学校教育課、公民館などが連携しながら、学校において系統的に実施できる地域の特色を生かした環境学習プログラムの研究をします。	○ 実施中
	(2) 行政と地域による学校や幼稚園、保育園の支援体制の構築を図ります。	○ 実施中
第2段階	環境学習プログラムを実施しながら学校や地域、行政が一体となって改善を図っていきます。	○ 次年度 実施予定

2 進行を管理する指標

これからプログラム化をしていく段階であり、ある程度プログラムの姿や利用のされ方の目処がついてから目標を設定します。

3 事業の実施状況

事務 事業名	食育推進事業	環境学習推進事業(旧環境調査員活動事業)
担当課	保健課	環境課
全体 概要	<p>食育推進計画の推進のため、「栄養と食生活」を重点に、年度ごとに重点項目をかかげて、具体的な実践を推進しています。</p> <p>生活習慣病予防のために、正しい知識と実践力を身につけ、地域の仲間と地域に合った活動を展開します。</p> <p>朝食の欠食率減少に向けた取組を行います。第2次食育推進計画の内容として、共（郷・今日・協・供・教）食に取り組み、食事内容の充実を図りながら、市民総健康と生涯現役を目指します。</p>	<p>1 各小中学校推薦の児童生徒と各地区の推薦又は応募による大人 110 人以内を環境調査員（環境チェッカー）として委嘱し、市内の身近な自然環境調査活動を実施します。</p> <p>2 豊かな自然環境を保全し、自然とふれあう、体験型の学習の機会を提供します。</p> <p>3 こどもエコクラブ事務局から送付される通知、キットを配布します。</p>
実績	<p>1 第2次飯田市食育推進計画及び「地域健康ケア計画 2016」に基づく食育の推進</p> <p>2 きょう食を柱とした食育推進事業の実施</p> <p>3 多様な主体と協働し、子ども及び親を対象とした食育教室の開催</p> <p>4 食生活改善推進協議会員による地域活動実施</p> <p>5 男性対象の食生活改善教室の開催</p> <p>6 域産域消の食育店や関係団体と協働した啓発活動</p> <p>7 学校給食担当者等との連携強化</p> <p>8 企業と協働した健康教室の開催</p> <p>9 農林水産省、食育推進会議、食育推進評価専門委員会</p>	<p>1 環境調査員（環境チェッカー）による動植物調査の実施</p> <p>2 調査活動の正確性を高めるため、事前に調査員に対して調査活動を行うにあたっての研修を実施</p> <p>3 自然観察学習会（秋の自然観察会、水生生物観察会）の開催や、環境に関する講演会等の案内を実施</p> <p>4 こどもエコクラブの通知の送付、キットの配布【こどもエコクラブ支援事業を統合】</p>
指標値	<p>2 共食率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食 56.4% ・夕食 62.1% <p>3 キッズキッチン等実施数 2園、2回</p> <p>4 各種活動回数と普及対象人数 436回、20,187人</p> <p>5 男性健康教室参加実人数 46人</p> <p>6 食育店舗数 19店</p> <p>8 企業での健康教室開催数 3社、3回</p>	<p>1 参加者数 44人</p> <p>2 報告件数 473件</p> <p>3 開催数 4回</p> <p>4 配布件数 1回</p>
決算額	1,342（千円）	343（千円）

事務 事業名	緑の少年団支援事業	域産域消 公共施設等推進事業
担当課	林務課	農業課
全体 概要	市内6小学校（緑の少年団）への活動補助 ＜参考＞細々目名：森林環境保全推進事業費 （千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校）	本事業は飯田市の域産域消運動のリーディング事業として、公共施設給食を対象に地域農産物の供給利用を促進し、その供給に携わる多様な主体の連携により、地域内農産物を核とした経済の循環を促進することを目的とします。 当面は、学校給食を中心に、使用量が多く地域内生産が可能な米、にんじん、たまねぎ、じゃがいもの4品目を供給利用するための仕組みをつくります。
実績	市内6小学校（緑の少年団）への活動補助（千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校）	1 にんじん、たまねぎ、じゃがいもの生産利用体制維持 (1) 生産者を対象とした土作り・栽培学習会 (2) JAによる学校調理場への直接納品体制の確立（矢高、丸山、上郷、高陵） 2 地元農産物の利用拡大 (1) 旬の食材の取扱検討（毎月19日は食育の日） (2) 栄養士・調理員による生産者訪問 3 生産者との給食交流会の実施
指標値	活動回数 53回	1 (1) 栽培学習会 1回 (2) JA直接納品稼働期間 5～3月 2 (2) 生産者訪問 1回 3 給食交流会 1回
決算額	300（千円）	0（千円）

事務 事業名	域産域消 事業者活動支援事業
担当課	農業課
全体 概要	<p>農畜産物の生産者、飲食店、ホテル、直売所など地場産業を担う農業者が連携して、市民や観光客へ南信州の食材を直接アピールすることにより、食の域産域消活動を推進させます。特に、市民への提案力に優れている飲食業者の活動を支援することにより、生活者参加型の域産域消活動に展開を図ります。併せて、保健課が展開する食育推進活動とも連携し、相互の事業目的が達成できるように推進します。</p> <p>※関連事業→保健課:食育協力店と共に取り組む啓発活動</p>
実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 域産域消の食育店(飲食店)の募集、選定 2 域産域消の食育店の協力により実施する生活者参加型イベントの開催 3 地域農産物域産域消PR活動への支援 4 域産域消の食育店認定制度の広報・周知
指標値	<ol style="list-style-type: none"> 1 域産域消の食育店新規認定 2店 2 料理教室、試食会 1回 3 PR活動回数 2回 4 いいだファンクラブでの加盟店のPR 2回
決算額	0千円

施策5-2 生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり

1 将来的な手順の考え方と現状

	将来的な手順の考え方	H28年度 の状況
第1段階	環境学習を希望する地域とともに、系統立った環境学習ができるように、飯田市の環境に関連する課と公民館、市民団体・NPO/NGO などを中心とした検討体制を整え、公民館の主事をサポートできる体制を検討していきます。	○ 次年度 実施予定
第2段階	環境学習を希望する地域とともに、系統立った環境学習ができるように、サポート体制が整います。	○ 次年度 実施予定

2 進行を管理する指標

現在の状況は、プログラムやこれからの体制について検討している段階です。もう少し検討が進んだ段階で、数値目標の設定について考えていきます。

3 事業の実施状況

事務 事業名	地域環境活動支援事業	森林ふれあい事業
担当課	環境課	林務課
全体 概要	環境アドバイザーにより、地域住民に対し、環境学習を行います。	市民が自然とふれあいながら、様々な体験を通して自然の大切さ、環境保全の大切さを学びます。また、親子のふれあいの場とします。 1 野底山森林公園まつり実行委員会運営事業 2 飯田市育樹祭実行委員会運営事業等
実績	環境アドバイザー制度の充実 (1) 環境アドバイザーの人材確保に向けた多角的視点を持ったアプローチ ・幅広いメディアを通じて市民に向けて募集告知 (2) 環境アドバイザー制度の活用、講師派遣 (3) 環境に関する情報発信 (4) 環境アドバイザー連絡会研修会の充実 ・ごみ問題、地球温暖化問題、自然保護等幅広い分野で研修会を開催 ・各環境アドバイザーが習得している知識、技術、経験を分野別にて、継承共有するための研修会を開催 ・指導力の向上を目的とした研修会を開催 ・講師として、専門機関である「長野県環境保全研究所」、「飯田市美術博物館の学芸員」、地域団体として「伊那谷自然友の会」等が想定	1 野底山森林公園まつり ・イベント内容（緑化木頒布、森の産物体験即売、親子木工体験、花木等即売、ごみの分別資源の有効活用、野底ウォーク、ツリークライミング、その他) 2 飯田市育樹祭・松川の清流と自然を訪ねて大平県民の森紅葉まつり ・一般公募や企業、NPO 等による参加者の間伐体験
指標値	1 環境アドバイザー募集告知 1人 2 実施回数 81回 3 情報発信 25回 4 連絡会研修会 5回	1 参加者数 4,000人 2 参加者数 203人
決算額	218（千円）	776（千円）

施策5 その他事業の実施状況

事務 事業名	森林公園維持管理事業	天竜川総合学習館管理運営事業
担当課	林務課	建設管理課
全体 概要	野底山森林公園を適切に維持管理するための事業を行います。(施設の管理・清掃、除草作業、花木の剪定・伐採、遊具修繕、施設点検、施設改修等)	<p>天竜川治水対策事業の整備にあわせて、河川防災拠点施設とともに、天竜川などの河川環境や自然環境学習の場として建設されている天竜川総合学習館の施設管理及び学習講座の企画運営を行う事業です。</p> <p>天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示をおこない一般観覧者に対応すると共に、週1~2回の講座開催による環境等の学習の推進や、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然・環境・歴史・文化などを題材にした生涯学習の推進を図る事業です。</p>
実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 公園の管理運営方針を定めるワークショップの開催【新】 2 公園遊具の安全対策工事 3 マレットゴルフ場、キャンプ場施設等の修繕 	<ol style="list-style-type: none"> 1 かわらんべ講座の開催 <ol style="list-style-type: none"> (1) 小中学生・一般を対象にした、自然環境学習講座の開催 (2) 幼児向け講座の開設（親子で自然に親しむ講座の開催） (3) 成人市民を対象にした、自然環境学習講座の開催 (4) 河に親しむ講座の開催 2 総合学習（学校等）への対応 3 来館者への対応（講座参加者、総合学習利用者、施設利用及び市民以外の来館者を含む）
指標値	<ol style="list-style-type: none"> 1 開催回数 16回 2 箇所数 22箇所 3 箇所数 32箇所 	<ol style="list-style-type: none"> 1 講座開催数 104回 2 来園、来校回数 66回 3 来館者数 33,484人
決算額	11,950（千円）	7,735（千円）

事務 事業名	大平宿泊訓練施設管理事業 (旧) 林間学校等施設管理運営事業 (大平)
担当課	学校教育課
全体 概要	○ 維持管理 (1) 電気代、施設修理修繕、給水管修理、硝子破損修理他 (2) 汚物汲取手数料、建物保険、給水ポンプ点検清掃、借地契約 (3) 草刈・清掃
実績	1 維持管理業務 (1) 光熱費支払、施設修理修繕、消耗品補充 (2) 建物保険、給水ポンプ点検清掃、借地料支払 (3) 草刈・清掃等の施設整備
指標値	1 維持管理業務 一式
決算額	343(千円)